

かほく ワークシート

人の死悲しい
戦争しないで

須藤 優 12歳

(仙台市太白区・中学生)

集団的自衛権。このと

ころ、この言葉をほぼ毎

日のように聞いているよ

うな気がする。

いま日本では、憲法9

条の解釈を変えて集団的

自衛権を行使できるよう

にするかどうかが大きな

問題になっている。もし

解釈を変えてしまったら、

日本は戦争ができる

国になってしまおうら

しい。

私は戦争をしてほしく

ない。友達も家族も誰一

人として死なないでほしい。知り合いの中には、

東日本大震災で親族を亡

くした人もいる。もう、

誰かが亡くなって悲しむ

人を見たくないから、戦

争はしないでほしい。

ただ、最近の中国の行

動は目に余るものがある。

自分たちの国を自分

たちで守れなくてどうす

るんだという考えの人も

多くいると思う。

私にはまだ、どちらが

正解なのか分からない。

しかし、これだけははっ

きりと言える。人が死ん

で喜ぶ人なんていない。

誰も血を流さないでほし

い。外国人も、日本人も。

(2014年6月28日 河北新報朝刊)

①須藤さんの投書は、次のような構成で書かれています。よく読んで確かめてみましょう。

話題の提示(第1段落・第2段落)

→

書き手の意見とその理由

→

自分の意見と異なる考え

→

書き手の考え(まとめ・最後の一言)

②この投書の中で、須藤さんが最も主張したかったのはどのようなことだと思いますか。

③須藤さんの主張について、あなたはどのように思いますか。自分の知識や経験と結びつけて考えてみましょう。

年 組 名前

(小学校高学年、中学校/国語)